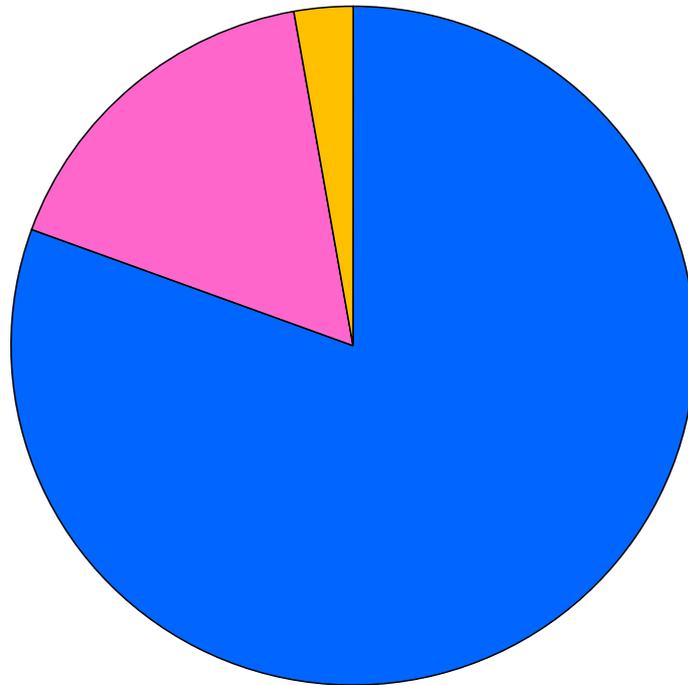


【参加対象者限定】第8回教育のデジタル化研究会※ライブ配信のみ

属性回答集計

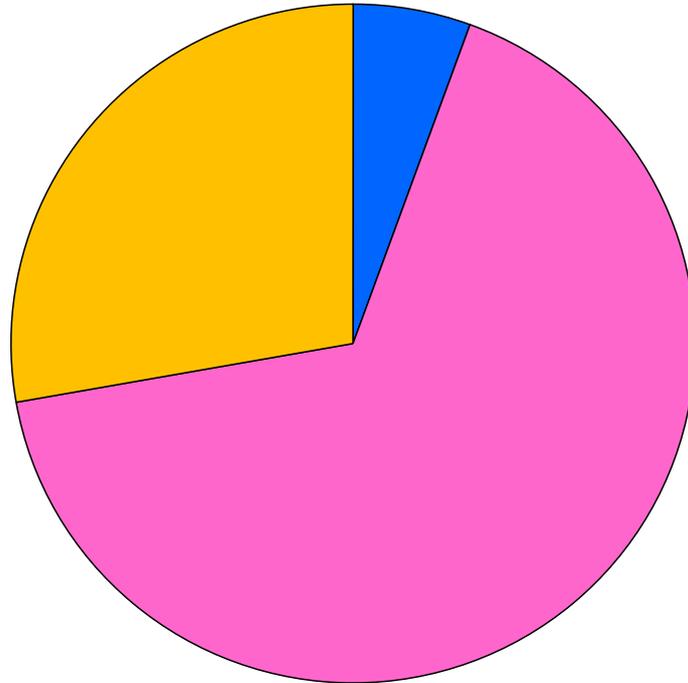
【属性】性別

No	回答	人数	%
1	男性	29	81
2	女性	6	17
3	性別無回答	1	3
合計		36	



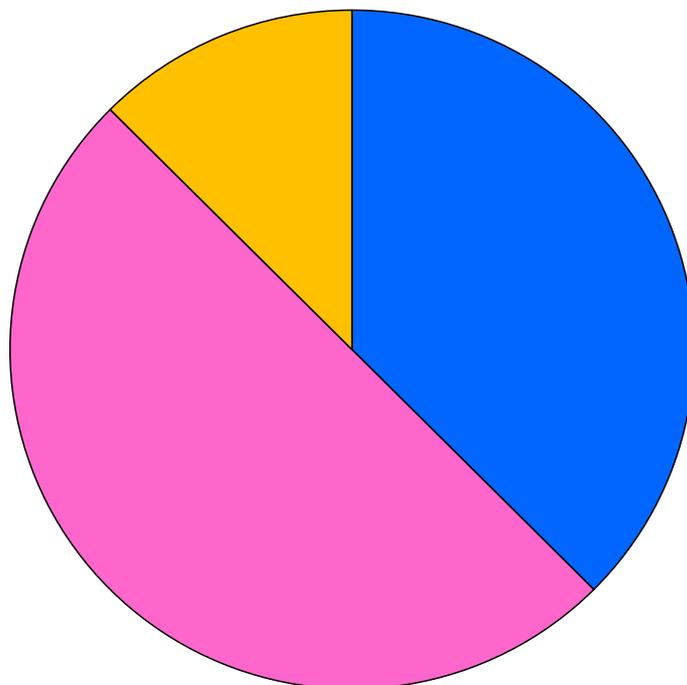
【属性】年代

No	回答	人数	%
1	アソシエイト（～34歳）	2	6
2	リーダー（35～59歳）	24	67
3	シニア（60歳～）	10	28
合計		36	



【属性】参加方法を教えてください

No	回答	人数	%
1	ライブ配信での参加	12	38
2	ハングアウトでの参加	16	50
3	会場参加	4	13
		合計	32

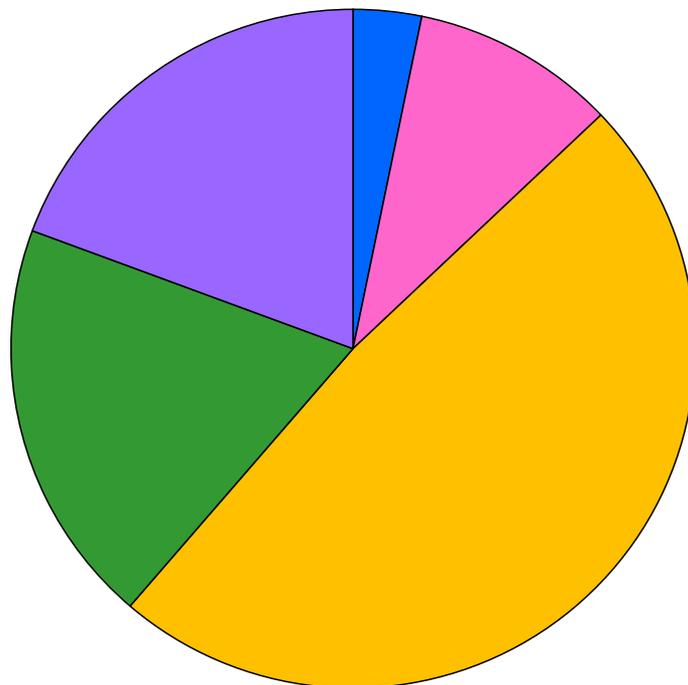


【参加対象者限定】第8回教育のデジタル化研究会※ライブ配信のみ

設問回答集計

【設問】新型コロナウイルス感染終息にはどのくらいの時間がかかると思いますか？

No	回答	人数	%
1	二か月以内に終息する	1	3
2	半年以内 に終息する	3	10
3	一年以内 に終息する	15	48
4	三年以内 に終息する	6	19
5	三年では終息できない	6	19
合計		31	



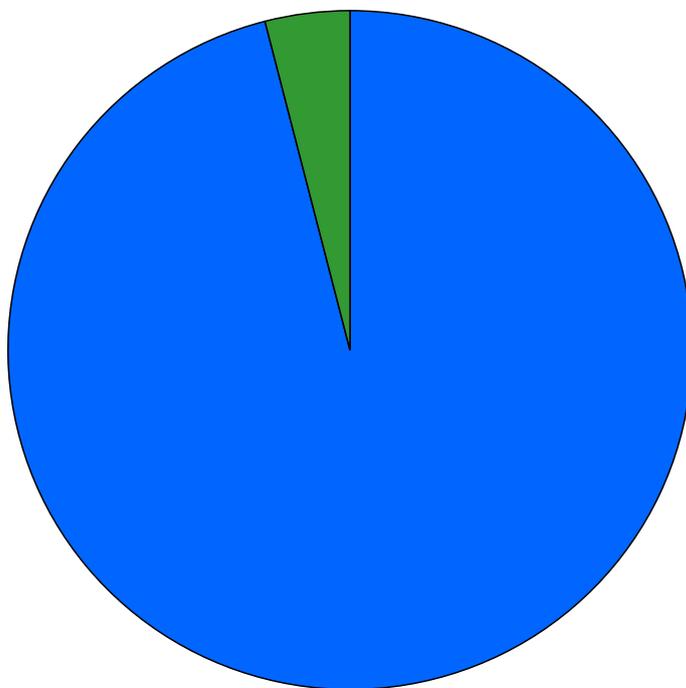
プログラム名 【参加対象者限定】第8回 教育のデジタル化研究会
※ライブ配信のみ

単元名 RA

アンケートタイトル 【参加対象者限定】第8回 教育のデジタル化研究会
※ライブ配信のみ

質問1 2019年度「教育のデジタル化研究会」（全8回）はいかがだったでしょうか。

No	解答	人数	%
1	良かった	25	96%
2	あまり良くなかった	0	0%
3	良くなかった	0	0%
4	どちらでもない	1	4%
合計		26	



質問2 今回の「教育のデジタル化研究会」はライブ配信とハングアウトで実施しましたが、お気づきの点がありましたらお知らせください。

【自由記述】

・ライブ配信で視聴しました。ハングアウトは思ったよりきれいに見えたのですが、DPPの資料の文字が小さくて見えにくかったです。（こちらのPCの解像度かもしれませんが。。）ちなみに生徒さんを想定すると、スマホの場合はどうでしょうか？

・ハングアウトで参加しました。質問もさせてもらいましたが、チャットでの質問はライブ配信での質問よりスムーズにできたと思います。理由はわかりませんが。

・ライブ配信視聴では、ハングアウト画面の文字が読みにくいです。音質もベストではないが、聞き取れないわけではないので、それなりの音質でした。

・いろいろ勉強になりました。いくつか考えたいことも明確になりました。

・パソコンを2台並べてライブ配信とハングアウトの両方で参加していましたが、ライブ配信の方はしょっちゅう固まっていた（通信環境は同一です）。ディスプレイも大きいですし、ストリーミングの処理について改善すべき点が多々あると感じました。

・ハングアウトで自宅から参加しましたが、人数が多くてもとてもスムーズな流れで驚きました。画面共有もよく見えました。

・ハングアウトの方が意見やコメントを発信しやすいように感じました。

・映像音声とも想像以上に良好でした。

チャットでの会話も良いですが発言が多いとログを追うのが大変ですね。

・ライブ配信を始めて受けました。自分の画面に出ているのは会場の画面と同じものだと思いますが、色々割り込んでくる画像（参考や補足目的です）に翻弄される感じでした。文字の解像度が悪い点はタイムリーに助言いただいたものの根本的には難しいようです。

・発言者が入れ替わっても右側に表示され、非常に見やすかった。スライドの文字が小さかった部分は文字が読めなかった。

・臨場感があり、参加者としての当事者意識をもって聴講でき知らず知らずのうちに興味深く思い積極的に理解しようとして聴き入っていた有意義な「授業」となりました。・これまでの検討結果のレビューであったため、今回初参加者にとっては、検討済み事項について質問してしまい、検討会を中座させてしまった印象がありストレスを感じました。・しかし、継続課題について公開講座とする場合の課題として認識することができ優位意義でした。

・ハングアウト？Meetでは？ Meet参加が多すぎ、MeetのチャットとDPPの質問が混在し、Meet発言者のたびに画面変わり目が回った。説明者PC画面でファイル探すとこれなどすべて見えており見苦しい。スライドPPTだけ見せるプレゼンのほうがすっきりする。

・基本的にスムーズにいったのではないかと思う。（ハングアウト参加および、スマホでライブ視聴）「ハングアウト参加：ディスカッション用」今回25名ほどだったが、直接顔出しで話す人もいれば、チャット使用が混在。話に割り込むのは日本人的にやりに

くいのか？チャットが活用されていた。（事務局の意図しない使い方？）そのあたりルール化してもよいのか。ただチャットは一旦離脱すれば記録されない、また流れてしまうのでファシリテーションが必要。決まったスピーカーがいる場合など事前に調整して構成するのもよいか。途中入室の人がQRコードが読めないということがあったがこちらも講師画面でうまく対応できるとよいかも。またDPPでの質問（主にライブ参加者）も含めうまく運用する必要があると思う。「ライブ配信：ハングアウトの世界をみながらDPPで双方向」講師画面がちょうど3名見えていたので、3名登壇のプログラムなどよいのかなと感じた。一部資料の文字がみにくい、固定画面のデスクトップ等が丸見えなどあったが、運用でカバーできそう。ライブ+ハングアウトはKK2プログラムでも活用できそう。今回オンデマンドは公開しない方向（個人情報等）だが、工夫すれば収録後も公開できると思う。

・①福島さんのプレゼンpcスペック要検討。

プレゼン用に限りハイスペックなPCに変えてはどうか。

オフィス開いたりかなり動作が重たい為、ビデオ会議の音声たまにロボ声になる。

②ライブの方は福島さんのMEET画面映像の時間が多数

画面の大半が何も表示されていない時間が多く殺風景だった

③kk2スタジオのMEET参加者数検討

発言直近の3名が映る、相吉さんはずっと映っていた。

MEET参加はKK2は2名程度でいいのでは。

発言の時だけ席を譲って変わる形で。④MEETのビデオのオンオフの確認

・自ビデオオフにした参加者が多数

・外部の方にまでは強要は難しいが、ハングアウトでの参加者のルールを定めては

⑤ハングアウトディスカッション形式について 加藤先生がチャットで質問して以降、ずっとチャットが質問発言用になっていたが、そもそもハングアウトでの音声でのディスカッションはしないのか？ 先日でも問題はないが、加藤先生等、何人かには音声で喋るように根回しする必要性を検討。

⑥会議最初に、参加者へMEETのビデオ・音声に問題無いかの確認を特に行っていない

本番開始した後に誰かの映像音声はKK2に届いてない等あっては困る

チャットで質疑応答としていくのであれば、必要性は下がる

ビデオ会議は映像音声に問題が無いが最初に確認するのが当たり前の行為です。

⑦MEETでのQRコードの共有 遅れて参加してくる人が悪いといえばそれまでだが、QRコード表示時間が短く、折角のDPP参加が出来ない人が発生。

DPPの趣旨は置いてけぼりは作らない筈では。。

資料全ページや、設問ページにQRコード貼ってもいいのでは？

置いてけぼり防止の為、次回以降のご検討を願います。

⑧MEET参加者30人近く、盛況だったと思います。初めての試みお疲れ様でした

・ハングアウトはチャットで発言しやすいのでとても良かったと思います。

・ハングアウト 音声クリアでよかったが 最後の方で加藤先生？の音が聞こえなかった

・ハングアウトで参加しました。これはこでありだと思えます。この様子をライブ配信したのを見た場合の感想があったら知りたいです。画面が、福島さんに固定さえました。となり、なんだか味気ない場面が多々ありました。発言者を常に自分で選んだり、資料を見たり、ぼちぼちするのが面倒でした。全員イヤホンして、話者以外はマイクオフにするなどのルールは必要だと感じました。

・ライブ配信で参加していましたが、音声の途切れが数回ありました。

・ハングアウト利用は初めての経験で、大体の操作は雰囲気でもわかりましたが、初歩的な使用法に終始したように思います。少人数なら全員参加の臨場感を出せそうですが、多人数参加の場合はやはりチャット機能が便利ですね。

・画面共有を使用していたため、やはり小さい文字は見にくく感じました。ですが、話している人が画面右側に表示されるので誰が話しているかはわかりやすかったです。

・自宅からハングアウトで参加しました。ハード面ですが画質、音質とも前半は問題なかったです。途中、永岡先生の講義のあたりから音声途切れる時間が増えてきました。それとチャットのテキストのやりとりを後から見ることはできませんでした。リアルでは表示されました。自宅の無線LAN環境およびPC性能による影響かとも思われますが、いちおう連携しておきます。このようにハード面での制約はありますが、それでも遠隔で情報共有ができるのはありがたいです。

・思った以上にやりやすかったと思います。ただ、画面に出てくる顔の人数に限られるので全体像が分からない感じはします。でも時期が時期だけにこういうのは良かったです。

・カメラをOFFしても会議に参加できることを始めて知った。なりすましもあるかもしれないがシャイな人や容姿の準備が出来なかった人にはありがたいかもしれない。

・ハングアウトでは、コメントが共有できるのがいい。

質問3 2019年度「教育のデジタル化研究会」（全8回）全般に対してのご意見、ご感想があればお聞かせください。

【自由記述】

- ・見識ある皆様からのご意見は大変勉強になりました。皆さんがおっしゃる通り、これからオンライン授業（遠隔教育）が一気に普及すると思われます。この時流に乗れるかどうかで今後のAVCCの発展に大きくかわると思います。自分に何ができるか、考える機会にもなったと思います。
- ・たいへん有益でした。次年度のテーマが悩ましいですが、事例紹介やシミュレーションもおもしろそうです。
- ・IDPについては、誰でもすぐに使えるような仕組みを検討すべきだと思います。
- ・GIGAスクール構想はターゲットになると思いますが、昨今のコロナ問題で学習塾も運営が迷走しています。学習塾へのアプローチもよいのではないかと思います。
- ・DPPが目に見えて進化していくのが素晴らしいと思いました。次は登録作業の簡素化が課題かと思います。
- ・多様な意見に驚きましたが、かなり改善が施された感があります。作ってなんぼではなく、使って、いや使えてなんぼですから、訓練、試用など機会を増やすしかないと思います。まずは講義の達人、ファシリテーターの達人との競演ではなく共演が有益かも。
- ・第8回のみのお聴講となりませんが、論点の体系（枠組み）を明示して議論していただきますと多少のリテラシーギャップがあってもついてゆけると思います。例えばユーザ登録について、ある方は、作業分担について、ある方は機密性について、ある方は登録された参照範囲について、ある方は登録サービスについて発言されていました。ファシリテーターがテーマを明確にして発言を求めるか、発言者にテーマを確認される運用をしてくださるとより分かり易い内容になると思います。
- ・事務局が大変だとおもいますが、機能説明は不要。ユースケースを増やして、多くの教育現場で使われるよう取り組むことが望めます。
- ・プログラムの改善等スピーディになされ、また積極的に活用いただけるユーザも登場いただいたので、より具体的な利用シーンが見えてきた。動画の配信、双方向は他にもたくさんコンペティターがいるが、DPPのように学習記録がしっかりと管理できる機能はあまりないのでこれから求められていくのではないかと思う。
- ・資料の事前共有がどうしても直前になりがちなので、しょうがない事情もあるとはいえ、直前なら直前でもいいので、スムーズにファイルを共有できる仕組みはないか。
- ・確実に進化していることを体験できたしたが、社会実装が目的ですのでこれまで以上の何かが必要だと思います。継続しかないと思います。
- ・最大同時接続数のリミットを越えた時、簡単に最大同時接続数を増やせるものか心配になりました。

・参加者の意識が高く、研究会は常時積極的な雰囲気、参加対話型の見本のような状況を呈し、毎回とても充実していました。本研究会において、RA/DPPの使用例が今後どんどん試行・実践され、場合により対面授業よりも面白い授業展開などが報告され見出し出されていくことで、情報化社会基盤上での教育・学習に不可欠なファシリテータとしての講師の双方向学習指導技術の熟達・向上に、本研究会が貢献すること大なるものと考えます。

・88回にわたりありがとうございました。運営と参加のみなさまに感謝します。双方向でという趣旨を考えると私自身が後半の開催ではあまり発言しなかったことを反省しています。

私の興味はDPPの普及に向けての実践例の紹介とディスカッションなどです。DPPの仕様の細かな部分については正直申し上げて、ついていけないところがありました。今後はいくつかのテーマをわけて分科会のような形でも平行して進めるのもありかなと思いました。

・始めは、どんなものなのか使い方をならっても・・・実際にどう使うのかがよくわからなかったけども8回の中で実際の使用例をいくつか伺って分かってきました。人と人の面前対話が制限されている今だからこそ良いのではないかと思う。あとは数をこなして使って使いにくいとか、現場からの声でカスタマイズしていければよいのかと。多くの方々に参加いただきありがたいことだと感謝いたします。

・先般の状況よりDPPを就職テレ面接（個人、集団問わず）として提案できないか。

・講師、学習者の一連の流れ（ロールプレイング）を行って欲しい。